

## 2023 年 度 第 2 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 講 習 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度第78回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会					
●日程	令和5年4月22日 (土) ~			令和5年6月4日 (日)		
●会場	おおきにアリーナ舞洲他					
●講師	茅野 修司 様、細見 竜太 様、大倉 哲也 様、浅野 祐樹 様、太田 令菜様					
●スケジュール	令和5年6月4日 (日)			おおきにアリーナ舞洲		
	9:00 開講式 10:30 更衣後PGC、終了後W-up 11:25 コートin、コートインスペクション 11:40 実技開始 13:30 閉講式					
●担当試合	令和5年6月4日 (日) 11:40 ~					
対戦カード	大塚高等学校		VS		近大附属高等学校	
主審	主審	河崎	U1	山口 翔 氏	U2	貝崎 壘斗 氏
講師／主任	茅野 修司 様、細見 竜太 様					
講評	・最後までどちらに勝敗が転ぶかわからないゲームだったが、ゲームコントロールができていた試合だった。 ・ベンチをもっと意識した方が良い。立ち上がることによって声が通りやすくなり、異論表現に繋がる。ゲームの始めにその事象が起こった場合にベンチサイドクルーが速やかに対応する。 ・レフリーもミスするので、ミスコールは素直に認める勇気も時には必要。					
自己の感想	順位決定リーグの試合映像が公開されているので、前回の1次審査と同様に事前に両チームのスカウティングをするなどして、事前にできる最大限の準備を行ってきました。クルーは直前に変更となっており、1次審査と同じクルーで挑むこととなりましたが、当日は気負いすることなく、クルーと気持ちを高め合いながら試合にのぞむことができました。私が今回のステップアップ研修会で特に学んだこととして、「スカウティングの大切さ」が挙げられます。1次審査ではクルーからいただいた映像、2次審査ではネット上にあがっている映像を見ながらスカウティングを行いました。CCとしていかに事前に良い「準備」を行い、クルーと共有できるかによって、私たち審判の試合への入り方が変わることを実感しました。 試合内容としては、講師の仰るように、どちらが勝つか最後までわからないゲームでしたが、1次審査同様に、プレイコーリング、メカニクス、IOTをベーシックに行い、チームファウルバランス、ゲームフローを意識することで、最後までクルー3人で集中を切らさずに試合に臨むことができました。個人としては、ベンチ管理や判定面で課題が出ましたので、次回以降改善していきます。 前回に引き続き、今回の研修会を開催していただいた大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様に深く感謝申し上げます。					

## 2023 年 度 第 2 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度第78回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会		
●日程	令和5年6月4日 (日)		
●会場	おおきにアリーナ舞洲		
●講師	細見 竜太 様・太田 令奈 様・浅野 祐樹 様 大倉 哲也 様・茅野 修司 様		
●スケジュール	令和5年6月4日 (日) 9:00 開講式 10:00 実技開始 13:30 実技終了・閉講式		
●担当試合	令和5年6月4日 (日) 10:00 ~		
	対戦カード	大商学園 VS 金光藤蔭	
	主審	CC 重松志保氏	U1 池嶋一幸氏 U2 正水 剛
	講師／主任	浅野 祐樹様 ・ 大倉 哲也様	
	講評	・判定しなければならないケースが少なかったがアウトオブバンスなどの力強いコールなどがあったので存在感があった。 ・グッドノーコールがいくつもあったが、セカンダリとして参加できるケースがあったのではないかと。 ・判定で手が上がりかけて吹かないケースがあったが、迷っているように見えるので改善すること。	
自己の感想	・ゲームは接戦となったが、審判が邪魔をすることなくスムーズに進めることができたと感じています。 ・前回の講習会で指摘して頂いた、ローテーションのタイミングをボールの位置だけでなく、プレーヤーの目線などを考えながらローテーションができたと思う。 ・ブレイジになったケースでは、コールを待ったつもりであったが映像を見返すとも少し待ってると感じた。 最後になりましたが、今回の講習会を企画して下さいました皆様に感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。		

## 2023年度 第2回 ステップアップ 研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 第78回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会		
●日程	令和5年6月4日 (日)		
●会場	おおきにアリーナ舞洲		
●講師	大阪府審判委員会 インストラクター 茅野修司氏・細見竜太氏・大倉哲也氏・浅野祐樹氏・太田令菜氏		
●スケジュール	令和5年6月4日 (日)		
	9:00 開講式 10:00 実技開始 13:30 実技終了・閉講式		
●担当試合	令和5年6月4日 (日) 13:00 ~		
	対戦カード	大商学園 VS 金光藤蔭	
	主審	CC:重松 志保 U1:池嶋 一幸 U2:正水 剛	
	講師/主任	大倉 哲也 氏 ・ 浅野 祐樹 氏	
	講評	・CCとしてテンポセットをして、ゲームコントロールをしようとしている姿がよかった。その中で、no call にしても良いケースがあったので今度精査していくことが必要になる。 ・クルー3人で協力しながら、大きなトラブルなく試合を運営することができていた。 ・4Qになると、ファールを覚悟でプレーをしてきているものとそれまでのファールの質の違いについて把握すると、より良くなる。	
	自己の感想	今回では、CCを担当させていただき、無事に試合を終えることができました。このようにできたのも、クルーの協力やTOとの連携など、さまざまなことが一つになれたところからだと考えます。試合終了後では、ファールの基準が違うなど話が上がりましたが、PGCで資料を共有し、両チームの特徴やキープレイヤーとなる選手の確認など、細部まで確認し試合に挑みました。個人の見解では、「明らかなもの」「プライマリー」を意識した上で、on the courtに立てたのではないかと思います。試合終了後、映像を見返して、IRの方々からのご指導をもとに自己検証をしてみると、この場面かな?と思い、見つめ直すことができました。今回の経験を糧に、今後のレフェリーへ活かしていきたいと考えます。	

## 2023 年 度 第 2 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 第78回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会					
●日程	令和5年6月4日 (日)					
●会場	おおきにアリーナ舞洲					
●講師	大阪府審判委員会IR(茅野 修司 様、細見 竜太 様、大倉 哲也 様、浅野 祐樹 様、太田 令奈 様)					
●スケジュール	令和5年6月4日 (日)					
	9:00 開講式 10:00 実技開始 13:30 実技終了・閉講式					
●担当試合	令和5年6月4日 (日) 10:00 ~					
	対戦カード	大商学園高校			VS	金光藤蔭高校
	クルー	CC	重松 志保 氏	U1	池嶋 一幸	U2 正水 剛 氏
	講師／主任	大倉 哲也 様、浅野 祐樹 様				
	講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ゲーム通してクルー全体で協力してレフェリングをしていた。それがベンチにも伝わり信頼を得た証としてHCからゲーム後に握手を求められたことはよかった。</li> <li>・トラベリングの判定にもっと基準を持つ。「何がどうなったからトラベリングが成立」なのかを明確にする。</li> <li>・EOQ、EOGに関してはこだわりを持つ。ゲームの中で4回必ずあるものであり、ショットが先か、ブザーが先か、またはファウルが起きているのかさまざまなケースを想定して準備しておく。そうすることで対応できるケースがほとんどである。</li> <li>・ブレイジになりかけたケースがあった。クルーがジェスチャーを出している、自分が出していないのであればよる必要はない。よって相談することで変な間ができてしまうので、テイクしてレポートに行ってもらった方が良い。</li> <li>・リードのローテーションをより見極める。ゲームの中で修正はしていたが、ローテーションを精査することでもっとリードが安定する。</li> </ul>				
	自己の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルー全員が中体連ということでいつも以上に協力してレフェリングを行うことができました。セカンダリでの判定であったり、OOBのヘルプ、3人でゲームを収めることができずは良かったと思っています。</li> <li>・トラベリングの判定には課題が残った。レイトミートや軸足の踏み替えなど明らかなケースはもちろんだが、「トラベリングっぽい」というケースでは判定するだけの根拠を持っておく必要がある。</li> <li>・EOQ、EOGでの準備が足りなかった。ブザーと同時にファウルが起こったケースなど、最後まで判定をし続けて0.1残すなどタイマー管理も含めて実践したかった。</li> <li>・ビッグインパクトに対して影響を考えていたら、クルーのセカンダリコールと笛が重なってしまい、ブレイジになりかけたケースがあった。あれくらいのビッグインパクトであればもっと瞬間的に判定をするべきだった。そうすれば判定が割れることはなかった。また、自分がまだジェスチャーを出していなかったため、寄らずに相手の判定でレポートにいったらスムーズに行けたかった。どのゲームでも起こりそうなブロックチャージのケースなので、次に繋げていきたい。</li> <li>・自分の中ではキーマンがプレイを始める時にローテーションを行い、それがフィットする時もあったが、バックペダルをもっと有効的に使うべきだと感じた。</li> <li>・今回このような体験をさせていただきましたことに、大阪府審判委員会の皆様にご心より感謝申し上げます。次の審査に向けて研鑽を重ねたいと思いますので、今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。</li> </ul>				

## 第 2 回 ステ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度第78回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会				
●日程	令和5年6月4日 (日)				
●会場	おおきにアリーナ舞洲				
●講師	細見 竜太 様 太田 令奈 様				
●スケジュール	令和5年6月4日 (日)				
	9:00 開講式 9:20 PGC 9:45 コートイン 10:00 トスアップ 11:40 ポストカンファレンス 13:30 閉講式				
●担当試合	令和5年6月4日 (日) 10:00 ~				
対戦カード	好文学園		VS		摂津
CC	花谷氏	U1	北野	U2	平出氏
講師/主任	細見 竜太 様 太田 令奈 様				
講評	・1試合を通して積極的に判定していこうという姿勢は良かったが、前半のテンポセットも含めて、コールザオービアスの部分で明らかなコンタクトに対してプライマリではなくても、CCMを發揮して判定が欲しかった。Tのポジションアジャストは前回から修正があったが、Cでのポジションアジャストが弱い。トラベリングに関して、明らかなものに判定がなかったことと、整理が不十分でメッセージのある笛が欲しい。				
自己の感想	1Qのイリーガルなコンタクトに対して、自分のプライマリではないがアングルは捉えられたのに、積極的に判定できなかったことや、ショットクロックの訂正に関しても自分で情報を持っていながらもセカンダリで訂正することができなかったことは、大きな反省であり、CCMの力が弱いと改めて痛感した。トラベリングに関しても、明らかなものを吹きこぼしてしまったことや、基準の整理ができなかった。Tのポジションアジャストは前回からは修正できたように思うが、Cでのハイセンター・ローセンターをもっと意識しショット以外でのポジションアジャストも必要である。 最後になりましたが、今研修会をひらいてくださった、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。				

## 2023 年 度 第 2 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 第78回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会		
●日程	令和5年6月4日 (日)		
●会場	おおきにアリーナ舞洲		
●IR	茅野 修司 様 ・ 細見 竜太 様 ・ 太田 令菜 様 大倉 哲也 様 ・ 浅野 祐樹 様		
●スケジュール	令和5年6月4日 (日) 8:45 IR 集合・ミーティング 9:00 開講式 10:00 実技開始 13:30 実技終了・閉講式		
●担当試合	令和5年6月4日 (日) 10:00 ~		
	対戦カード	好文学園 VS 摂津	
	主審	CC 花谷 慎子	U1 北野 謙悟 U2 平出 圭佑
	IR	細見 竜太 様 ・ 太田 令菜 様	
	講評	トライしていることは伝わってきたが、オビアスなものを的確にコールする必要があった。1Qでショットに対して遅れて入ってきてコンタクトしたケースで、こぼして欲しくないものが3人ともならなかった。クルーとして誰かがコールしてほしいケース。自分のエリアでなくとも、情報を持っているのであればケイデンスでコールすべきであり、クルーで判定していく必要がある。センターのポジションアジャストがボール中心のアジャストをしている時間帯があり、不必要なダブルコールに繋がっていた。それぞれのポジションで何を見るのか、それに合わせたポジションアジャストという考え方を持ってほしい。	
自己の感想	コンタクトに対してすぐにコールに繋がらず、見極める時間をとるよう心がけてトライしたが、慎重になりすぎてこぼれてしまうケースが出てしまい、とても悔しかった。「パートナーのエリアだから判定をしない」ではクルーとしてやっている意味がなくなる。3人で協力して、カバーし合えることがいいゲームに繋がり、「クルーで判定する」ということの大切さを改めて感じたゲームだった。プレイの前後をしっかりと捉えて、明かなもの、ゲームの大事な場面で決断できるためにはどんなことが必要なのかを考え、トライしていきます。今回の研修に参加させていただき、ありがとうございました。		

## 第 2 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会

### 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 第78回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール							
●日程	令和5年4月22日 (土) ~			令和5年6月4日 (日)				
●会場	おおきにアリーナ舞洲 他							
●講師	茅野 修司 様 細見 竜太 様 大倉 哲也 様 浅野 祐樹 様 太田 令菜様							
●スケジュール	令和5年6月4日 (日)							
	9:00 開講式 10:30 更衣後PGC 11:25 コート入り、コートインスペクション 11:40 tip off							
●担当試合	令和5年6月4日 (日) 11:40 ~							
	対戦カード	大塚			VS	近大附属		
	主審	CC	河崎 亮介氏	U1	山口 翔	U2	貝崎 壘斗氏	
	講師／主任	茅野 修司様 細見 竜太様						
	講評	1試合通して、ほとんどが正しく積極的にコールされていました。それがゲームコントロールに繋がり、信頼できるレフェリングでした。課題は、ベンチコントロールかと思えます。大塚ベンチプレイヤーが立ち続けており、その後、近大ベンチも立ち上がり、4Qは近大HCが、頭上でトラベリングの ジェスチャーを繰り返し行い異論表現をしています。1Qの早い段階で、ナイスプレイに対して一瞬喜んで立ち上がることで、そうで無い時に立ち続けていることは区別させるようにHCとコミュニケーションをとってください。1Q18.3秒 フリースローシューターは、青42番が自分から申告したことで、結果的に処置ミスにならなかったと思われれます。しかし、ここはレフリーが主導権を握って把握したいところです。						
	自己の感想	一試合を通して、明らかなものを逃さずに吹き続けることができたことは、良かったと思えます。ベンチコントロールの部分で、レフリーが主導権を握って、整理すべきことがありました。異論表現に関してもコミュニケーションで、なんとかかなるところをアプローチすることができませんでした。講評でおっしゃっていただいた、フリースローシューターが線を越える点に関してもコミュニケーションでなんとかかなるところだと感じた。最後ではありますが、本講習会開催にあたり、ご指導を賜りました近畿IR部会・大阪府審判委員会インストラクターの皆様へ心より御礼申し上げます。また、本大会に参加させていただきました、大阪府審判委員会の皆様へ心より御礼申し上げます。大会準備やTOを行っていただきました関係者の皆様、並びにチーム関係者の皆様へ心より感謝いたします。						